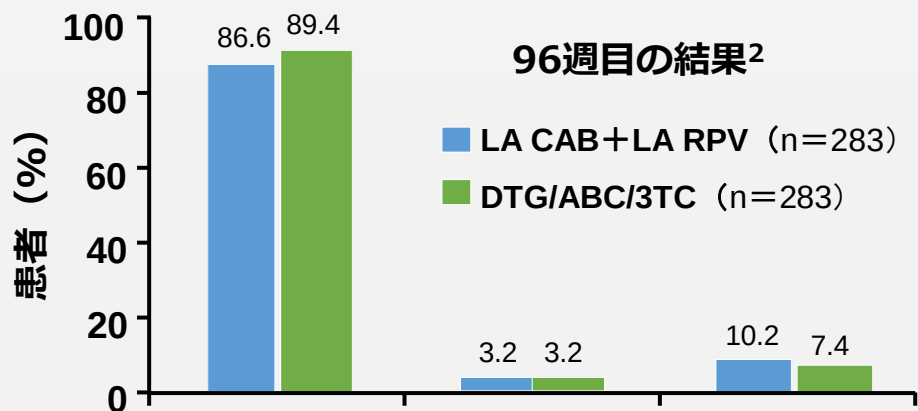
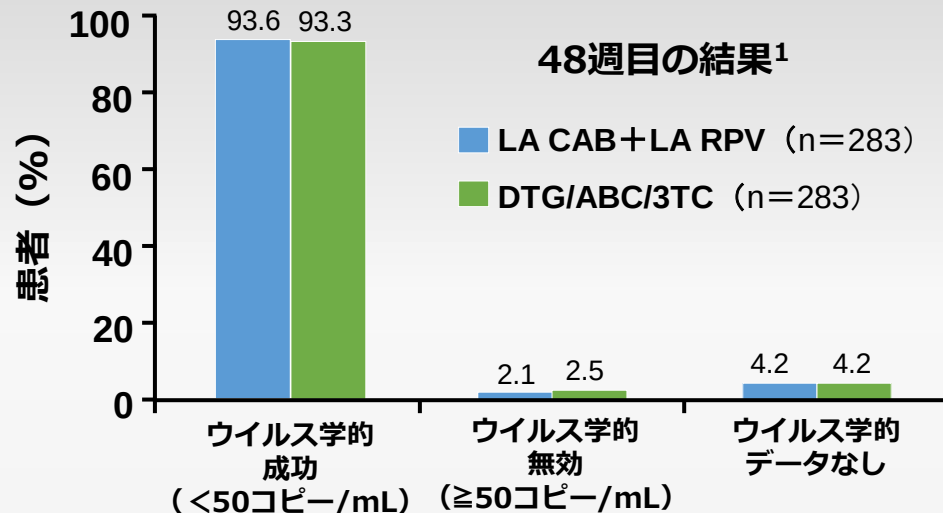


FLAIR試験：48週目および96週目の有効性 (ITT-E集団)



96週目の副次アウトカム

- CAB + RPV群の薬剤関連AEの大部分 (96%) は、grade 1/2であった (ISRを除く)。
- 最もよくみられたAEは発熱と頭痛であった。
- CAB + RPV注射全体のうち25%は注射部位反応 (ISR) がみられた。
- 99%がgrade 1/2で、持続期間の中央値は3日であった。
- 6例がISRまたは注射に対する不耐性のため投与を中止した。
- 治療満足度の増加は、CAB + RPV群で有意に高かった。